

まちのアルバム

英語で楽しくフィットネス♪

野洲市国際協会主催のフィットネス教室が行われ、カナダ出身のマーク ミラーさんを講師に、7人が参加されました。教室は7月から毎週金曜日（全6回）開催。

この日は、英語でコミュニケーションをとりながら、音楽に合わせてアップテンポな運動やゆっくりとしたストレッチなどを行い、リフレッシュした様子でした。

家でのストレッチの取り入れ方などのアドバイスもあり、とても有意義な時間となりました。

▼7月1日 コミセンやす



▼6月16日 須原



▲水路に生息している魚を確認するパトリアさん



世界農業遺産に認定！

国連食糧農業機関（FAO）審査委員のパトリア・ブスタマンテさんが世界農業遺産現地調査のため、琵琶湖と共生するために取り組んでいる「須原魚のゆりかご水田」を訪れました。

世界農業遺産は、世界的に重要な農林水産業システムをFAOが認定するものです。

7月18日「須原魚のゆりかご水田」を含む琵琶湖地域の伝統的な漁業が、世界農業遺産に認定されました。

歴史の小窓

—学芸員のメッセージ—

(215)

歴史民俗博物館 ☎587-4410、Fax587-4413

竹工芸作家 杉田静山 — 生誕90年 —

博物館では、日本を代表する竹工芸作家の杉田静山氏（平成29（2017）年死去・享年85歳）の生誕90年記念展を開催しています。

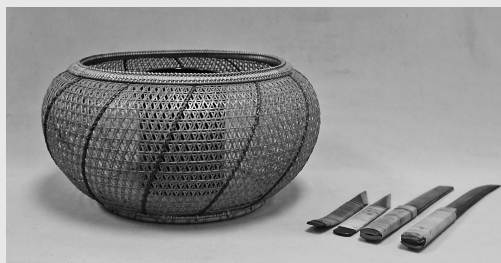
杉田氏は野洲市西河原に工房を構えて活動しました。その作品は、竹のしなやかさを生かした、繊細さと優美さを兼ね備えた作風に特徴があります。また、自然をイメージしたものが多く、暖かみのある造形を生み出しました。

昭和7（1932）年に大阪で生まれた同氏は、12歳の時に病気により聴力を失いました。13歳の時には戦災に遭い、両親の故郷である野洲に移り住みます。このことが野洲川の竹を使った竹細工との出会いであり、独学で竹籠を作り始めるきっかけとなりました。

昭和44（1969）年の「日展」初入選を機に、作家として注目されます。昭和48（1973）年には日本伝統工芸展に初入選。平成9（1997）年には滋賀県指定無形文化財保持者（竹工芸）に認定されます。平成29年に旭日双光章を受章しました。

展覧会では杉田静山氏の軌跡とともに、その作品を紹介していますので、ぜひご観覧ください。

（博物館学芸員 齊藤慶一）



杉田静山氏作品「めばえ」（左）・愛用道具（右）（当館蔵）

■生誕90年記念展「竹工芸作家 杉田静山の美の世界」

開催中～10月2日(日)

※期間中の休館日：月曜日（9月19日は開館）、8月12日(金)、9月20日(火)・27日(火)～29日(木)

※市民は入館無料

（運転免許証やげんきカードをご提示ください。）

※市ホームページ等で事前に開館状況をご確認の上、ご来館ください。